

平成29年度

事業計画書  
収支予算書

公益財団法人 相模原市健康福祉財団



## 1 平成29年度事業計画

### (1) 事業運営方針

公益財団法人相模原市健康福祉財団（以下、「財団」という。）は、地域医療供給体制の充実を図るため、平成23年4月に相模原市医師会から相模原看護専門学校（以下、「学校」という。）の経営を引き継ぎ、平成29年度は7年目を迎える。

この間、財団設立団体である相模原市、相模原市医師会、相模原市病院協会をはじめ、神奈川県及び県看護協会、各医療・保健福祉施設等の支援・協力のもと学校運営を進め、看護師の養成を通して地域医療の充実に取り組んできた。

特に平成26年度からは、財団の中期経営計画（平成25年度～29年度）に基づき入学定員の拡大に向けた準備を進め、平成28年度には1学年80名定員を実現するとともに、財団独自の奨学金制度を創設した。

こうした経緯を踏まえ、平成29年度は、今までに培った実績・成果をもとに、財団設立団体をはじめ、各医療・保健施設等との連携をより強め、地域社会の期待に応え得る公益財団法人、看護師養成所としての運営を着実に推進するとともに、長期的な展望を見据えた中で、財団及び学校の充実・発展に向けた平成30年度から5か年間の第2次中期経営計画の策定に取り組んでいくものとする。

学校運営においては、教育理念・目的である「豊かな人間性と看護実践能力を身につけ、自律した専門職業人として地域に貢献できる人材を育成する」ことを基本に、

看護を志す学生一人ひとりを大切にされた教育活動をはじめ、実践能力をより身に付けていくためのアクティブラーニングの展開や学習支援を教職員全体で進めるとともに、教職員体制や設備、実習など学生の能力向上を目指した学習環境の創出・改善に向けて、的確・迅速な対応を図っていくものとする。

このほか、学校運営経費の効率化をはじめ、受験生の確保に向けた入学試験方法の検討や広報活動の強化、防災・安全対策の充実、学生自治会や同窓会の支援、学校に隣接した相武台まちづくりセンター・公民館等との連携などを事業運営の重点方針に掲げ、取り組んでいくこととする。

### (2) 事業概要

#### ア 事業目的

相模原看護専門学校は、学校教育法(昭和22年法律第26号)及び保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)に基づき、看護師として必要な知識及び技術・態度を修得し、豊かな人間性及び自律性を養い、地域社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

#### イ 看護師の養成

保健師助産師看護師法施行令及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づ

き、次のとおり看護師の養成を行う。

(ア) 総定員：平成28年度は200名(1・2学年80名、3学年40名)

(イ) 教育課程及び単位数

3年課程全日制の教育カリキュラム

(単位数：101単位、時間数：合計3,000時間)

(ウ) 実習施設(59施設)

北里大学病院、北里大学東病院、相模原病院、相模原協同病院、東芝林間病院、  
 渚野辺総合病院、相模ヶ丘病院、相模台病院、総合相模更生病院、黒河内病院、  
 相模野病院、相原病院、相模原中央病院、相模原赤十字病院、小松会病院、さ  
 がみりハビリテーション病院、さがみ仁和会病院の17施設のほか、高齢者支  
 援センター11施設、老人保健施設9施設、訪問看護ステーション7施設、社  
 会福祉施設8施設、保育所7施設

(エ) 卒業後の資格

- a 看護師国家試験受験資格
- b 保健師学校・助産師学校受験資格
- c 専門士(医療専門課程)称号授与

### (3) 実施事業

ア 第2次中期経営計画(平成30年度～34年度)の策定

(ア) 第2回理事会(8月)：中期経営計画の評価と課題、計画の骨子

(イ) 第3回理事会(11月)：計画概要、財政推計

(ウ) 第4回理事会(2月)：計画策定

イ 学習環境の充実

(ア) 看護実践能力、キャリア開発の向上に向けたアクティブラーニングの推進

(イ) 専任教員の確保と研修機会、研究授業等の充実による教職員の資質の向上

(ウ) 教材・教具の整備・更新、図書資料等の充実

(エ) 実習施設との連携・協働の強化

(オ) きめの細かい進路指導、健康管理等による学生支援

(カ) カウンセリング等によるメンタルサポートの推進

(キ) 奨学金に関する相談体制の充実による就学支援

(ク) 防災、安全教育の強化と施設の安全管理の徹底

(ケ) 入学前学習の奨励による基礎学力の向上

(コ) 白優祭等特別教育活動の充実と学生自治会、サークル活動の支援

(サ) 多職種連携授業の推進に向けた準備

ウ 学校運営・活動の充実

(ア) 国家試験合格率の向上と市内就職の促進

- (イ) 教職員の年度目標の設定と自己評価
- (ウ) 学校運営の自己点検・評価の実施と公表
- (エ) 受験生確保に向けた入学試験方法の検討
- (オ) 入学試験問題の公表に向けた検討
- (カ) 内部情報・個人情報管理の徹底
- (キ) カミングデーや同窓会活動を通じた卒業生の支援
- (ク) 関係団体・地域団体等との連携・協働の促進
  - a 市病院協会主催「潜在看護職確保対策事業」等の協力
  - b 相武台まちづくりセンター・公民館、地域行事等との事業連携
  - c 隣接施設との総合防災訓練の実施
- (ケ) スクールマーケティングによるニーズの把握と事例研究  
在校生・受験生等の意向調査の実施、他校先進事例の調査・研究
- (コ) 学校案内、広報活動の充実
  - a オープンキャンパス、学校説明会の実施
  - b ホームページの充実、ポスター・パンフの配布
- エ 看護師奨学金貸与事業の推進
  - (ア) 市医師会・市病院協会への拠出金依頼
  - (イ) 奨学金貸与審査委員会の開催
    - a 構成：相模原市及び学校長を除く理事
    - b 委員会：5月23日（火）定時評議員会終了後
- オ 平成30年度入学生の選抜
  - (ア) 募集定員：80名
  - (イ) 選抜方法
    - a 推薦入学試験(指定校推薦及び一般推薦)  
募集割合：35%程度、試験科目：指定校推薦は小論文及び面接、一般推薦は国語及び面接
    - b 社会人入学試験  
募集割合：15%程度、試験科目：国語及び面接
    - c 一般入学試験  
募集割合：50%程度、試験科目：国語、英語、選択科目(生物基礎又は数学I)及び面接
- カ その他
  - (ア) 主な学校行事
    - 4月 : 入学式(6日)、就職説明会(27日)
    - 5月 : 防災訓練(1日)、看護を考える日(26日)
    - 5月～翌3月：高校訪問、オープンキャンパス、学校説明会

- 6月 : 進路ガイダンス (16日)、カミングデー (28日)
- 8月 : 一日看護体験 (7月31日、8月1日)、合同実習調整会議 (24日)、避難訓練 (28日)
- 10月 : 白優祭 (28日)、看護学生のつどい (31日)
- 2月 : 看護研究発表会
- 3月 : 卒業式 (8日)、合同実習調整会議
- (イ) 理事会、評議員会等の予定
- a 定例理事会の開催(年4回)、役員会議の開催(随時)
  - b 定時評議員会の開催(年1回)
  - c 出資団体事務担当者会議等の開催(随時)
- (ウ) 中期経営計画の進行管理  
理事会、学校運営会議等

## 2 収支予算書(総括表)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	1	1	0
②特定資産運用益	70	70	0
③事業収益	110,020	96,275	13,745
④受取補助金	194,663	195,681	△ 1,018
⑤雑収益	612	257	355
経常収益計	305,366	292,284	13,082
(2) 経常費用			
①事業費	287,890	262,482	25,408
②管理費	2,501	2,292	209
経常費用計	290,391	264,774	25,617
当期経常増減額	14,975	27,510	△ 12,535
当期一般正味財産増減額	14,975	27,510	△ 12,535
一般正味財産期首残高	111,298	83,788	27,510
一般正味財産期末残高	126,273	111,298	14,975
II 指定正味財産増減の部			
1 基本財産運用益	1	1	0
基本財産受取利息	1	1	0
2 一般正味財産への振替額	△ 1	△ 1	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	13,000	13,000	0
指定正味財産期末残高	13,000	13,000	0
III 正味財産期末残高	139,273	124,298	14,975





### 3 収支予算書(内訳表)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	1	0	0	1
基本財産受取利息	1	0	0	1
②特定資産運用益	70	0	0	70
特定資産受取利息	70	0	0	70
③事業収益	107,519	2,501	0	110,020
受取入学分担金	9,600	0	0	9,600
受取施設管理分担金	4,800	0	0	4,800
受取授業料	77,499	2,501	0	80,000
受取実習費	10,000	0	0	10,000
受取入学検定料	5,000	0	0	5,000
受取再試験料	400	0	0	400
受取証明書発行手数料	220	0	0	220
④受取補助金	182,663	12,000	0	194,663
受取県補助金	25,008	0	0	25,008
受取設立団体補助金(相模原市)	125,000	0	0	125,000
受取設立団体補助金(医師会)	28,000	0	0	28,000
受取設立団体補助金(病院協会)	4,000	0	0	4,000
その他補助金	655	0	0	655
受取設立団体拠出金(医師会)	0	10,000	0	10,000
受取設立団体拠出金(病院協会)	0	2,000	0	2,000
⑤雑収益	612	0	0	612
受取利息	2	0	0	2
雑収益	610	0	0	610
経常収益計	290,865	14,501	0	305,366
(2) 経常費用				
①事業費	287,890	0	0	287,890
給料手当	138,675	0	0	138,675
臨時雇賃金	1,632	0	0	1,632
退職金	0	0	0	0
福利厚生費	26,584	0	0	26,584
会議費	225	0	0	225
旅費交通費	1,568	0	0	1,568
通信運搬費	1,400	0	0	1,400

消耗什器備品費	3,500	0	0	3,500
消耗品費	3,780	0	0	3,780
修繕費	2,500	0	0	2,500
印刷製本費	2,047	0	0	2,047
燃料費	30	0	0	30
光熱水費	5,343	0	0	5,343
賃借料	8,188	0	0	8,188
保険料	611	0	0	611
諸謝金	13,772	0	0	13,772
租税公課	20	0	0	20
支払負担金	9,707	0	0	9,707
委託費	15,491	0	0	15,491
支払手数料	536	0	0	536
雑費	1,209	0	0	1,209
減価償却費	25,916	0	0	25,916
退職給付費用	25,156	0	0	25,156
②管理費	0	2,501	0	2,501
給料手当	0	677	0	677
会議費	0	15	0	15
交際費	0	100	0	100
旅費交通費	0	598	0	598
通信運搬費	0	44	0	44
消耗品費	0	30	0	30
保険料	0	251	0	251
支払負担金	0	84	0	84
支払手数料	0	72	0	72
諸謝金	0	519	0	519
雑費	0	111	0	111
経常費用計	287,890	2,501	0	290,391
当期経常増減額	2,975	12,000	0	14,975
当期一般正味財産増減額	2,975	12,000	0	14,975
一般正味財産期首残高	101,520	9,778	0	111,298
一般正味財産期末残高	104,495	21,778	0	126,273
II 指定正味財産増減の部				
1 基本財産運用益	1	0	0	1
基本財産受取利息	1	0	0	1
2 一般正味財産への振替額	△ 1	0	0	△ 1
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000	3,000	0	13,000
指定正味財産期末残高	10,000	3,000	0	13,000
III 正味財産期末残高	114,495	24,778	0	139,273

#### 4 資金調達及び設備投資の見込みについて

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

##### 1 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	借入先	金額		使 途	

##### 2 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法又は 取得資金の使途	
公益目的 事業会計	リース資産【校舎】	13,740,000円		前期繰越金	